

## 中国古代の歯科病名と疾病観

——歯科病名歷程 補遺\*——

杉 本 茂 春\*\*

### 序 章

さきに、インド、朝鮮及び我国の歯科病名を調べ、その配列・取扱等から、それぞれの時代の医学概念のなかで、歯科はどのような位置を与えられていたかを考察して、歯病名歷程とした。

今回は、稿を新にして、中国古代の歯科病名を調べて、歯科病名歷程、補遺とし、併せて、歯科疾病観を考察する。

### 殷人疾病考にみえる歯科病名

殷人疾病考によると、中国では、すでに殷商時代、疾病全般についての甲骨文があり、考証されている。

#### 疾字の認識

殷高宗武丁（1324 B.C.—1266 B.C.？）時代、甲骨卜辞に、𠂔は象人臥於床上とあって、寝台の上に人が寝ているさまにより、人が病んでいる意を表わすと云う。

また、卜辞には、「𠂔」の字があるが、もともと「𠂔」は「𠂔」の尸声より生じたもの、尸は古を意味し、ふるくは夷、洑と通じていた。しかも、洑は失と同じ意であるから、𠂔齒は失齒のことを謂うと解説されている。

したがって、𠂔齒は、当然失齒と理解すべきである。故に、𠂔首、𠂔目、𠂔耳、𠂔舌、𠂔言、𠂔趾とあるのは、失首、失目、失耳、失舌、失言、失趾と解すべきであると、呉其昌は解説している。

以上のことを分析すると、𠂔齒即ち失齒とは、

齒を失う又は齒の機能を損じ失うことと理解できる。

以下、類推して、

𠂔首は、首を失う又は首の機能をそこなう。

𠂔目は、目を失う、盲、失明又は目の機能をそこなう。

𠂔耳は、耳を失う、聾又は耳の機能をそこなう。

𠂔舌は、舌を失う。又は舌の機能をそこなう。

𠂔言は、言語を失う、啞又は言舌不明瞭のさまを言う。

𠂔趾は、趾を失う、又は趾の機能をそこなう。

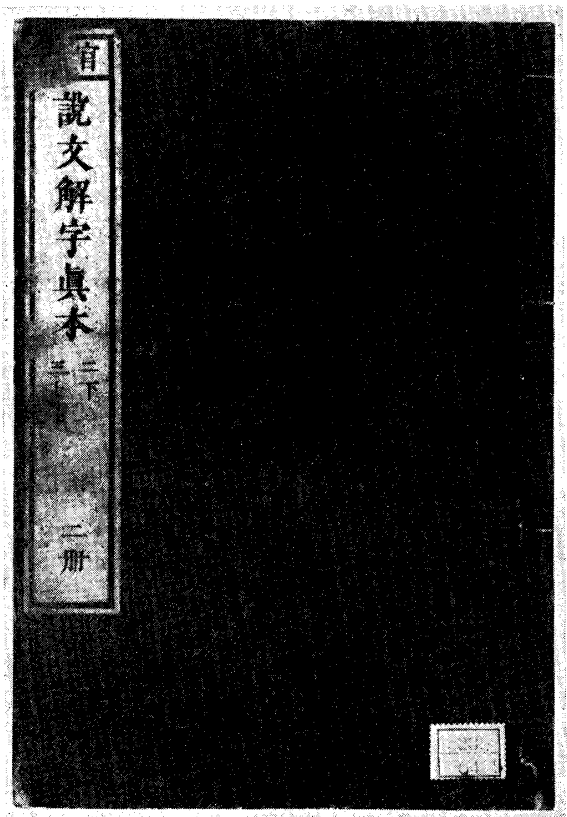


図 1

\*

\*\* Shigeharu Sugimoto

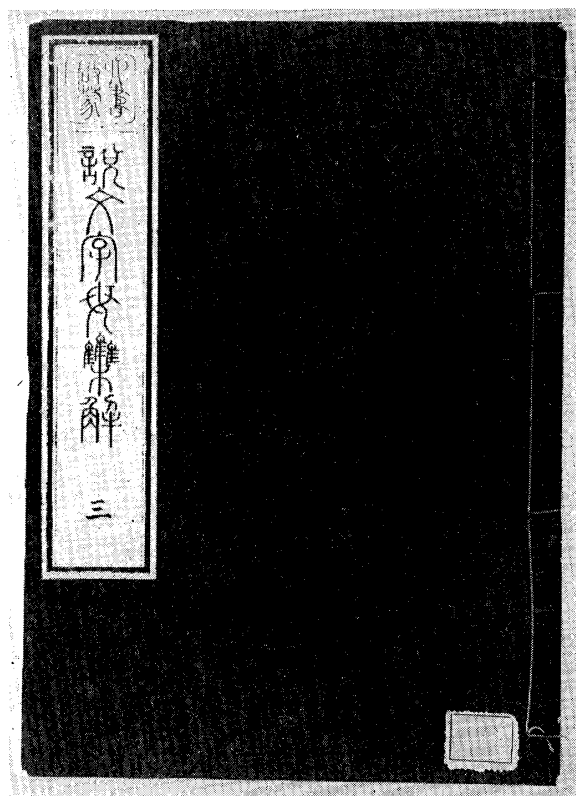


図 2

とよみとることが可能で、全くその機能を失ってしまうことの他に、機能の一部分をそこなうことが、即ち、疾病と認識されていたと考えられる。因に、疾病の人、その肢体の挙措がぎくしゃくしているさま、普通でない、即ち健康体でなく痛苦や機能不全のために、肢体不自由又はゆがんでいる様子とも理解できる。

#### 疾病の種類

殷高宗武丁の時代、殷人の疾病は、

- A 頭病 現在 脳神経科
- B 眼病 現在 眼耳鼻咽喉科
- C 耳病 現在 同
- D 口病 現在 内科
  - 1) 貞疾口
  - 2) 貞疾口
- E 牙病 現在 牙科
  - 1) 甲子……貞王疾齒唯有易口
  - 2) 甲子……貞王疾齒亡易口
  - 3) 壬戌卜亘貞有疾齒唯有它
  - 4) 甲辰卜亘貞疾齒唯有它
  - 5) 貞疾齒不唯父乙它

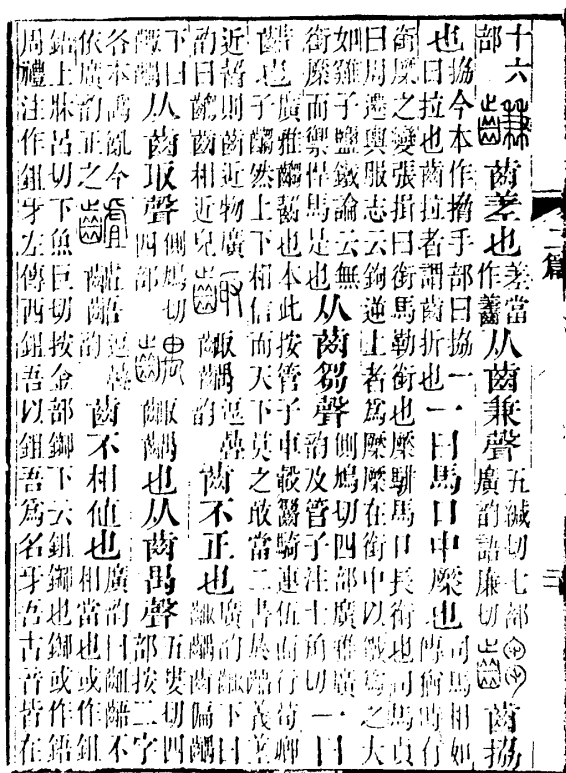


図 3

- 6) 己丑貞有疾齒于乙唯有
- 7) 貞疾齒告干丁
- 8) 貞疾齒祀干父乙
- 9) 疾齒災

いずれも高宗武丁疾齒の記事である。疾齒は失齒とのみ考えるべきか。

F 舌病 現在 内科

- 1) 甲辰……貞疾舌唯有它
- 2) 貞王舌疾唯有故
- 3) 貞疾舌求于妣庚

G 喉病 現在 眼耳鼻咽喉科

H 鼻病 現在 眼耳鼻咽喉科

I 腹病 現在 内科

J 足病 現在 外科

K 趾病 現在 内科

L 尿病 現在 泌尿科

M 産病 現在 産科

N 婦人病 現在 婦人科

O 小児病 現在 小児科

P 伝染病 現在 伝染病科

以上16種を数え、現代の医学分科のすべてを経

験し、記録していた。但し、殷高宗武丁朝59年間の記録である。

#### 小 括

1 殷時代、すでに医学分科の全科にわたる疾病を記録していた。

1 現代の歯科・口腔科領域は内科・牙科に分けられ、いずれも医学分野の1分科として認められていた。

1 疾病の状況については、急性・慢性の症状に応じて、区別して認められていた。

1 歯牙疾病の患者は高宗武丁の症例に限られていて、殷時代人全般については類推できない。

1 歯牙疾患は、美食・安逸の貴人に好発したとも考えられる。

1 一般庶民即ち奴・婢・僕・兵には、粗食質実の故に、歯牙疾患は殆ど発生しなかったとも考えられる。

1 疾病の原因は、多くは何かのたたりと考えていた。

1 したがって、疾病の治療には呪術師等の活躍がさかんで、医薬の調剤技術者「醫」の以前に、呪術医即ち「鑿」のあったことがうなずける。

1 疒齒は失齒、齒を喪失する事。即ち、交換期の乳齒脱落と老人性歯牙脱落以外に、疼痛その他の病的原因による歯牙自体の機能低下は、考慮の枠外にあったと考えられる。

1 これに対して、疒首、疒目、疒耳、疒舌、疒言、疒趾等は、それぞれ疼痛・腫脹・発熱・発赤等、炎症性諸徴候を招来する疾病、疾患及び機能障害を伴う諸条件が、いわゆる疒の字義、「人が寝台に寝ているさまにかたどり、人が病んでいる意」を表わすことになったと考えられる。

#### 中国医学史にみえる歯科病名

周代及び春秋戦国時代

疾病の種類

A 伝染病

B 内科病

1 呼吸系病

2 消化系病

1) 口瘍 素問五常政大論 按即口瘡

2) 口糜

3) 齒齲

4) 齲 齒齲齲也

C 外科病

D 産科病

E 小児病

となっている。

#### 小 括

1 口歯科は消化系病に組入れられている。

1 消化系病15病名中、口歯病名は4病名を掲げている。

1 しかも、口瘍(口瘡)、口糜、齲ともに口科に編入されていたもの。(内科)

1 さきに、牙科として分類された歯疾、齒齲を内科に組入れている。

1 また、殷時代に疾齒と記録されたものに「齲」の病名を与えている。

#### 秦漢時代

古代疾病名称的研究によると

A 伝染病及流行病

B 内科病

C 外科病

D 眼耳鼻咽喉病

E 歯病

1) 齲齒

それぞれ、説文・釈名・広雅・史記倉公伝中の解説をひいている。

#### 小 括

1 歯病はふたたび内科から分離独立して、歯病科とし、齲の説明を加えている。

#### 説文解字病疏にみえる歯科病名

1) 齲 毀齒也、男八月生齒八歳而齲女七月生齒七歳而齲。差貴切、羌貴切、初忍切、初董切、初覲切、初問切、恥問切、楚引切、丑忍切。齒がぬけかわる。かけば、みそっば。

刑法志に、未齲者皆不為奴とある。

2) 齲 齒差也。五緘切、語廉切、魚咸切、牛廉切、五銜切、五緘反、牛銜切、魚欠切。

齒なみが不揃い。齒が正しくない。

3) 齲 齒協也。側鳩切，士角切，側加切，壯留切，側上反，甞尤切。

齒が折れる。牙がない。上下の齒が相近ずくさま。

4) 齲 齒不正也。〔玉篇〕齒不齊。〔集韻〕齒重生。〔正韻〕齒偏。〔注〕人之牙齒參差。五婁切，魚侯切，元俱切，五溝切，牛俱切，五溝反。

5) 齲 齒不相值也。壯呂切，魚巨切，莊加切，莊居切，鋤牙切，側加切，側巴反，魚拳切，側魚切。

6) 齲 齒一前一却。〔集韻〕齒不齊。魚拳切。くいちがう，齒があわない。

7) 齲 齲齲也。〔玉篇〕齒聚兒。〔集韻〕齒不正。側鳩切，仕垢切，甞尤切，測角切，側上反，仕六切。齒がむらがり生える，齒があつまるさま。

8) 齲 齒參差。〔玉篇〕跌。〔集韻〕齒不齊也。才何切，才可切，仕知切，楚宜切，千何反，此何切，楚宜反，側箇反。

齒なみが不揃い，齒が正しくない。齒露不齊状。

9) 齲 齒差跌兒，昨何切。

10) 齲 欠齒也一日曲齒，巨員切。

11) 齲 無齒也，魚吻切。

12) 齲 欠齒也，魚覲反，魚轄反，五轄切。

13) 齲 斷腫也，巨主切，其呂切。

14) 齲 老人齒。大齒落尽更生細者如小兒齒也。五雞切。

15) 齲 齒傷酢也。酢者今之醋字酸澁也。創拳切。

16) 齲 齒不相值也。魚拳切。

17) 齲 齲。邱禹切。

以上，17病名に，齲1字を加えて，18病名と数えられた。

#### 小 括

1 説文解字病疏，386病名中，齒科病名は合計18を数え，4.4%にすぎない。

1 𪔐の部には，𪔐（口𪔐）以外に齒科病名はない。しかも，口𪔐は内科に所属すべきものである。

1 齲・𪔐以外は殆ど齒牙及び，齒牙配列の異

常の状態を示す。

古今圖書集成にみえる齒科病名

古今圖書集成醫部全錄には，脣口門，齒門，舌門，小兒脣口齒舌喉門，以上4部にわけて詳記されている。

#### 脣口門

- 1) 口臭（直指方）
- 2) 口苦（劉完素六書）
- 3) 口糜（李杲十書）
- 4) 口瘡（儒門事親）
- 5) 口破（外科正宗）
- 6) 口旁惡瘡
- 7) 虛勞口乾
- 8) 赤口瘡
- 9) 白口瘡
- 10) 毒熱口瘡
- 11) 口甘
- 12) 口吻瘡
- 13) 口脣瘡裂（石寶秘錄）
- 14) 口疳
- 15) 口中癢瘡
- 16) 口内肉毯
- 17) 口肥瘡
- 18) 口燥乾（金匱要略）
- 19) 燕吻瘡
- 20) 卒口噤不開
- 21) 鎖口疔
- 22) 脣風
- 23) 齲脣（瘡瘍全書）
- 24) 脣生腫核
- 25) 緊脣
- 26) 齲脣緊裂
- 27) 脣疽
- 28) 反脣疔
- 29) 落下頰（外科正宗）

#### 齒 門

- 30) 齒屬腎（直指方）
- 31) 牙癰（瘡瘍全書）
- 32) 牙腫（瘡瘍全書）

- 33) 牙宣 (瘡瘍全書)
- 34) 食酸齒軟 (本草綱目)
- 35) 宣露動搖 (醫學入門)
- 36) 上齲癰 (証治準繩)
- 37) 走馬疳 (外科正宗)
- 38) 走馬牙疳
- 39) 牙疳
- 40) 齒虫
- 41) 齒齲
- 42) 齲齒
- 43) 齲蛀
- 44) 齒蠹
- 45) 虫牙
- 46) 蛀牙
- 47) 齲齒
- 48) 風牙
- 49) 食梅牙齲
- 50) 齒腐齲爛
- 51) 殷牙
- 52) 牙衄
- 53) 鑽牙疳
- 54) 牙疔

#### 舌 門

- 55) 木舌 (瘡瘍全書)
- 56) 重舌 (瘡瘍全書)
- 57) 重齲 (瘡瘍全書)
- 58) 舌生瘡 (瘡瘍全書)
- 59) 蓮花舌 (瘡瘍全書)
- 60) 白胎 (傷寒論)
- 61) 舌乾燥 (傷寒論)
- 62) 舌爛 (得効方)
- 63) 舌短強 (醫學入門)
- 64) 舌腫長 (醫學入門)
- 65) 舌破裂 (醫學入門)
- 66) 舌燥裂 (石寶秘錄)
- 67) 舌黑色 (石寶秘錄)
- 68) 舌生刺 (石寶秘錄)
- 69) 舌吐出 (石寶秘錄)
- 70) 舌乾腫 (石寶秘錄)
- 71) 舌縮入 (石寶秘錄)

- 72) 弄舌
- 73) 滯頤

#### 小兒脣口齒舌喉門

- 74) 鵝口瘡 (外科正宗)
- 75) 舌厚脣燥 (小兒直訣)
- 76) 齒遲 (嬰童百問)
- 77) 小兒口內白屑 (嬰童百問)
- 78) 小兒口瘡
- 79) 小兒重舌 (張渙方)
- 80) 咬牙 (薛氏醫案)
- 81) 面黃弄舌
- 82) 嬰孩鵝口
- 83) 嚼物少力
- 84) 小兒癰瘡
- 85) 小兒口瘡脣緊 (証治準繩)
- 86) 小兒牙宣牙齲 (醫統)
- 87) 小兒脣口臭爛 (莊子)
- 88) 小兒緊脣 (保幼大全)
- 89) 小兒口傍瘡久不軟 (保幼大全)
- 90) 小兒吐舌・弄舌 (保幼大全)
- 91) 小兒牙癰腫爛膿血 (保幼大全)
- 92) 小兒夜間咬牙 (薛氏醫案)
- 93) 小兒虛熱咬牙 (錢氏醫案)
- 94) 小兒實熱咬牙 (薛氏醫案)
- 95) 小兒口鼻生瘡兩目赤腫 (証治準繩)
- 96) 小兒牙根舌上發瘡 (証治準繩)
- 97) 小兒風虫牙痛・卒齒痛 (証治準繩)
- 98) 小兒牙黑蛀 (証治準繩)
- 99) 齒根腫 (証治準繩)
- 100) 小兒齒痛・風齲・連頤微腫 (証治準繩)
- 101) 小兒齲齒風疹・虫蝕疼痛 (証治準繩)
- 102) 小兒風齲齒痛・虫蝕疼痛黑爛 (証治準繩)
- 103) 小兒齒縫出血 (証治準繩)
- 104) 小兒牙病 (養生必要)
- 105) 小兒齒腫流涎・腮腫馬牙 (明醫雜著)
- 106) 小兒吐血 (薛氏醫案)
- 107) 小兒木舌腫硬 (薛氏醫案)
- 108) 小兒木舌 (聖惠)

#### 小 括

- 1 脣口門, 29病名



中国医学史  
漢簡文字類編  
古代疾病名候疏義  
大漢和辭典 卷7  
太平御覽  
天中記  
晉書  
南史  
三国典略  
訳註 隋書刑法志  
古今圖書集成 医部全錄  
古今圖書集成 上海版小本

說文解字  
說文解字注  
官版說文解字真本  
說文解字詁林  
漢簡函版  
說文疑々  
說文字原考略  
說文解字義証  
康熙字典  
說文解字翼徵  
說文字母集解  
說文解字注箋